

世界が進むチカラになる。



経済調査

欧州景気概況(2026年7月)

2026年7月2日

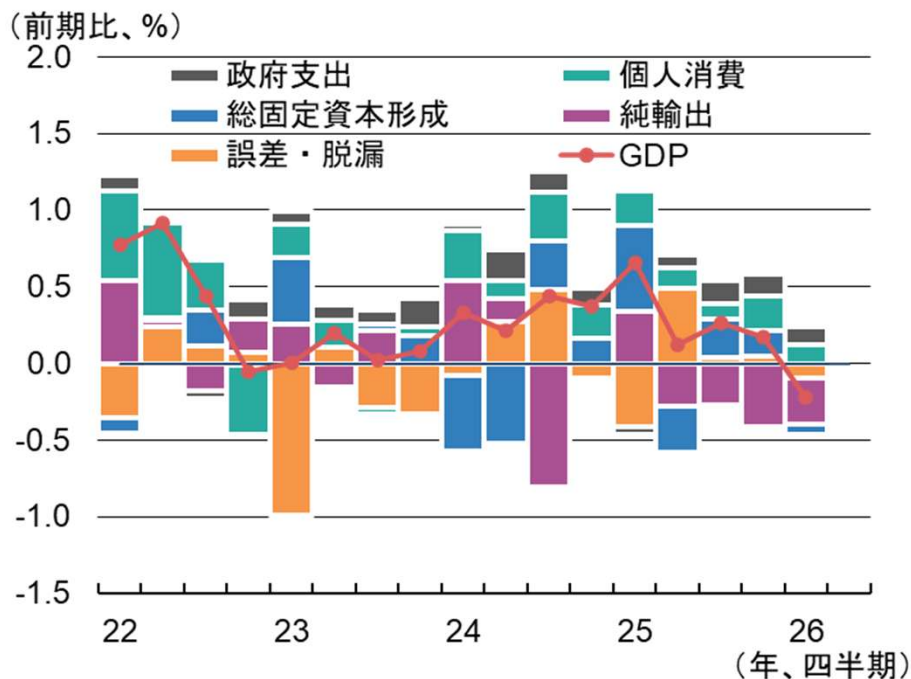
調査部 主任研究員

土田 陽介

ユーロ圏景気概況① 景気は低迷している

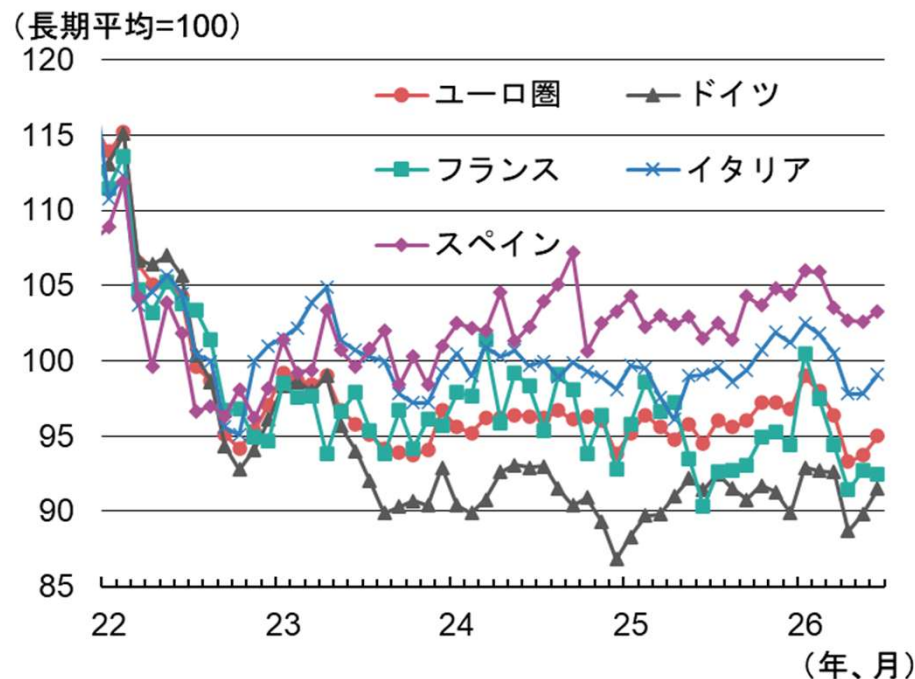
ユーロ圏の1-3月期の実質GDP(確定値)は前期比▲0.2%と、2022年10-12月期以来のマイナス成長に転じた。需要項目別には輸出の減少が続いたほか、総固定資本形成が減少に転じ、景気を下押しした。一方、最新6月の景況感指数は95.0と2カ月連続で上昇したが、力強さを欠いている。

実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

景況感指数

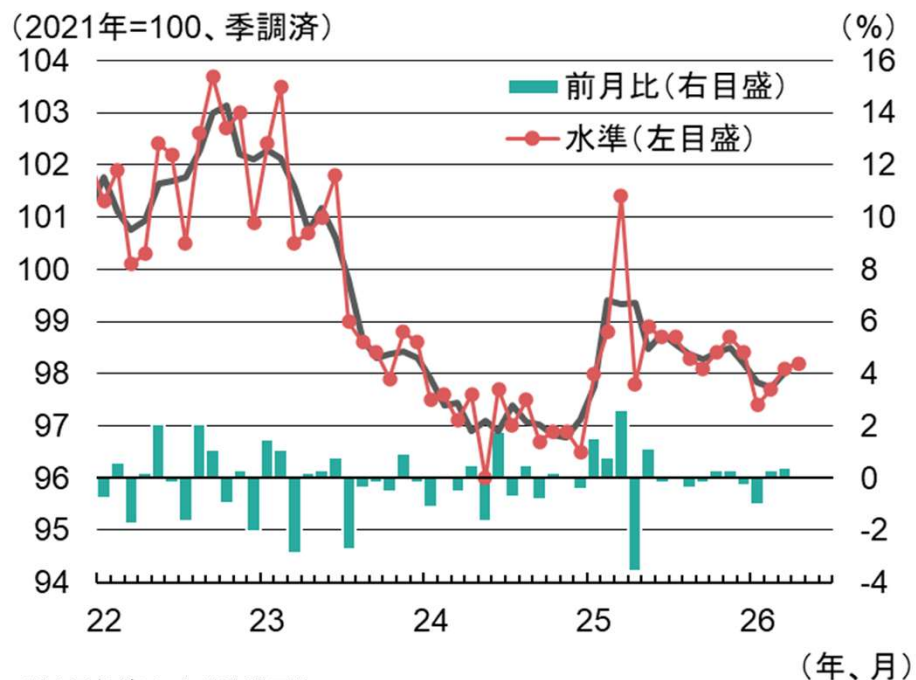


(出所) 欧州委員会ECFIN

ユーロ圏景気概況② 生産は低迷している

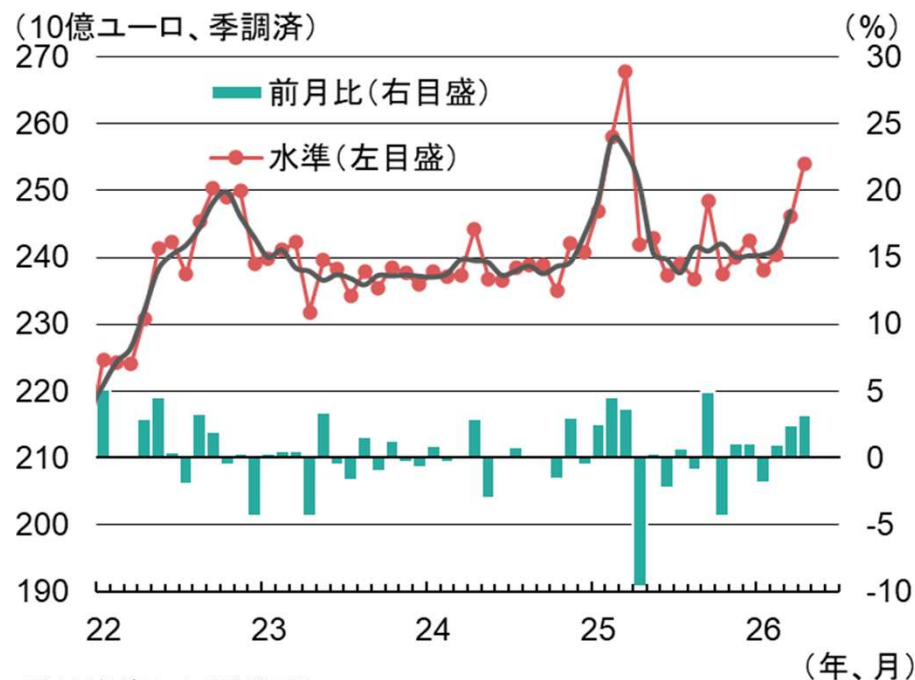
ユーロ圏の4月の鉱工業生産は前月比+0.1%と増勢が鈍化し、均した動きは横ばい。エネルギー財や資本財が減産に転じ、生産全体の増勢にブレーキをかけた。一方、同月の名目輸出は同+3.2%と2カ月連続で増勢が加速し、均した動きも上向きとなった。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

名目輸出

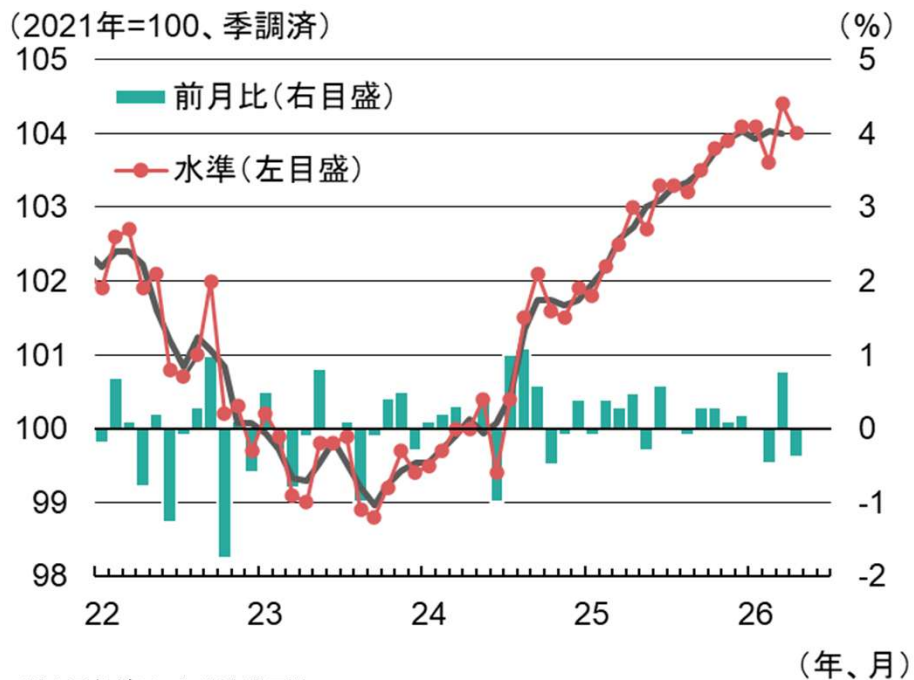


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

ユーロ圏景気概況③ 消費は頭打ち

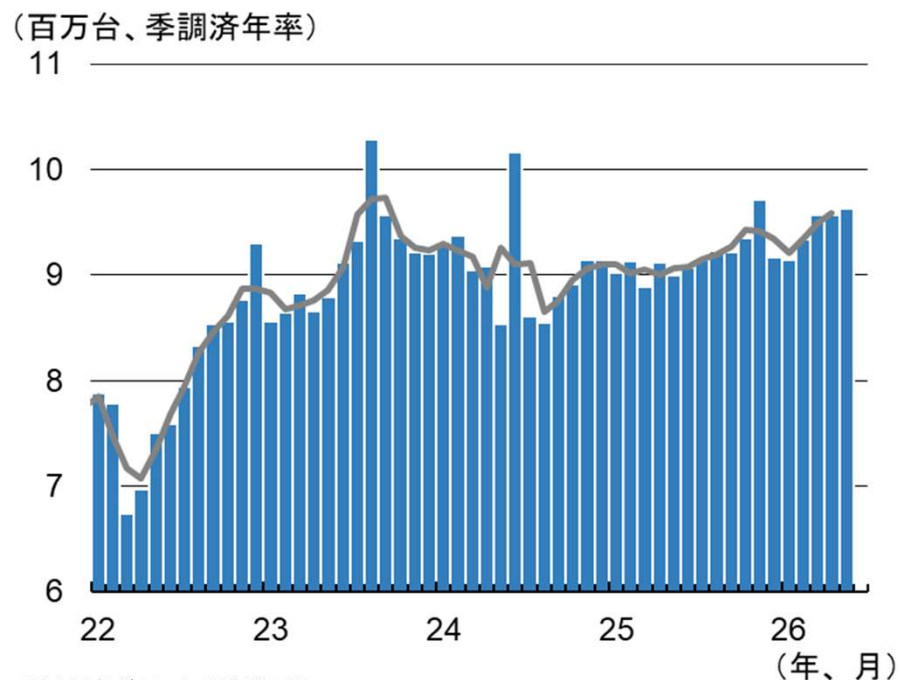
ユーロ圏の4月の小売数量は前月比▲0.4%と再び減少し、均した動きは横ばい。一方、5月の新車販売台数は前月比+0.6%の年率962万台と4カ月連続で増加し、均した水準は上向き。

小売数量



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

新車販売台数

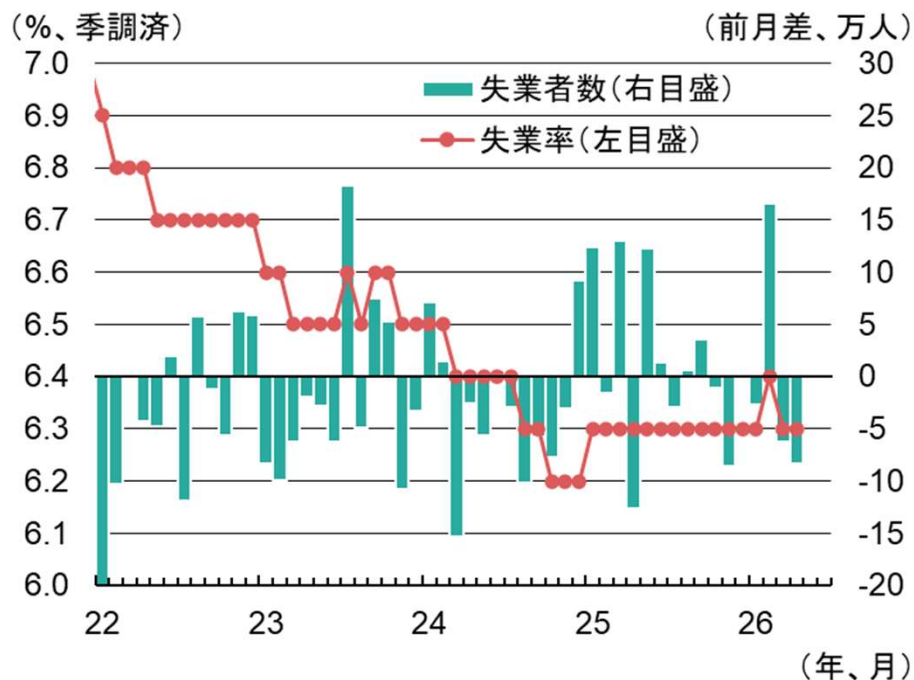


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) 欧州中央銀行 (ECB)

ユーロ圏景気概況④ 雇用は完全雇用の状態

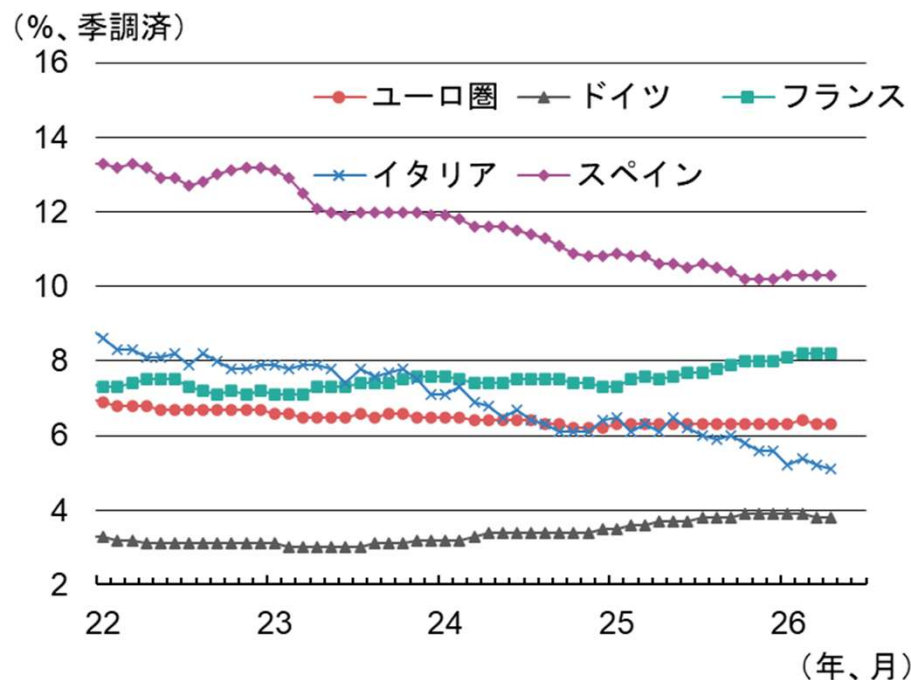
ユーロ圏の4月の雇用統計では、失業率が6.3%と前月と同水準となった一方、失業者数は前月差8.4万人減と2カ月連続で減少した。失業率・失業者数とも一進一退が続いており、完全雇用の状態と判断される。失業率を主要国別に確認すると、いずれの国も年明け以降は横ばいで推移している。

失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

主要国別失業率

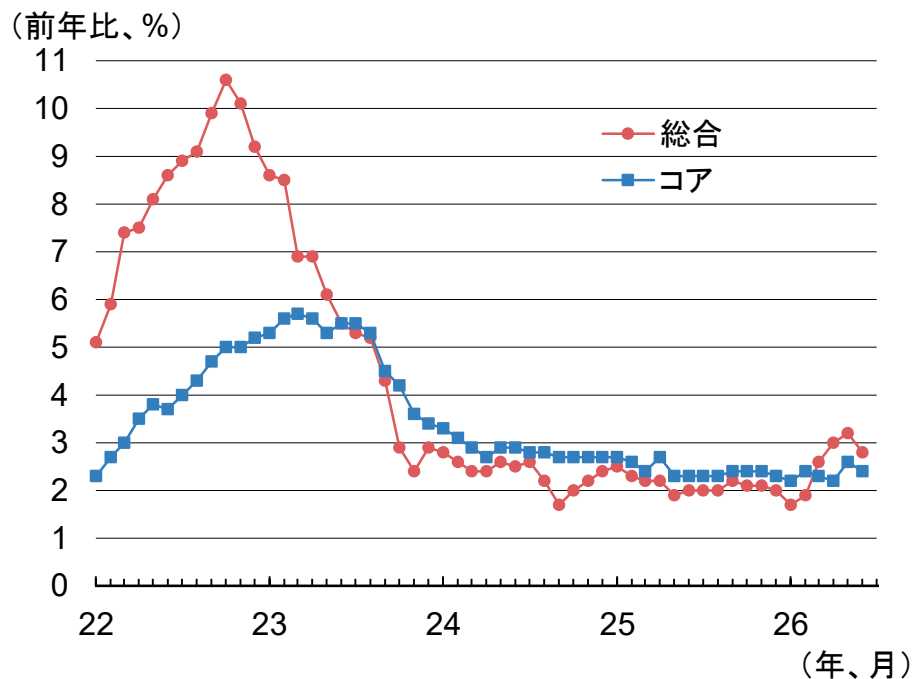


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑤ インフレは強含み

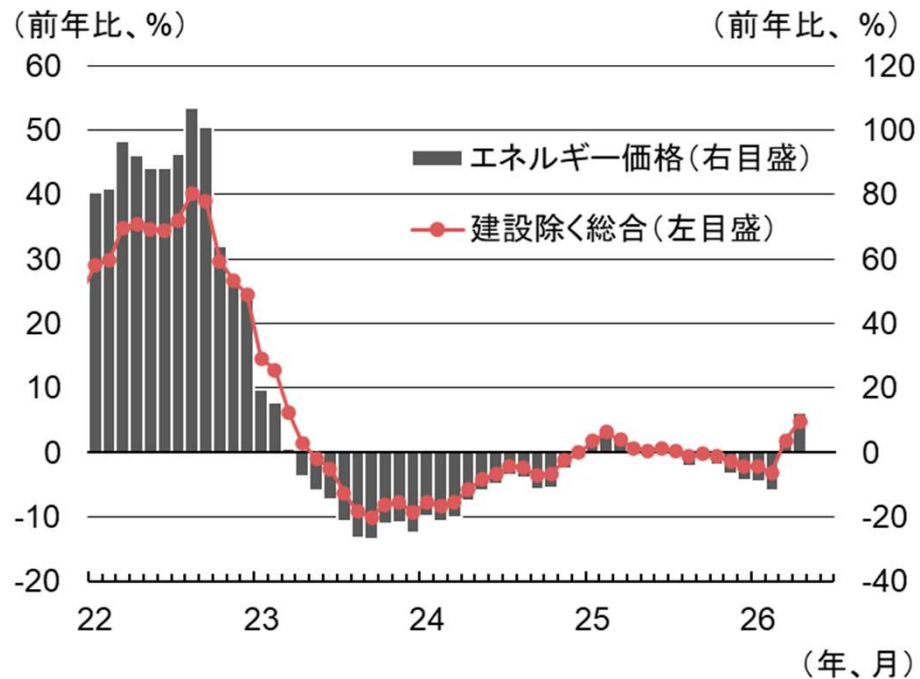
ユーロ圏の6月の消費者物価(総合ベース)は前年比+2.8%と、伸びが5カ月ぶりに鈍化したものの、引き続き強含んでいる。また生産者物価(建設除く総合)は4月時点で同+4.9%と、前月(+1.9%)から上昇が加速した。うちエネルギー価格は同+12.4%と高い伸びとなった。

消費者物価



(出所)ユーロスタット

生産者物価

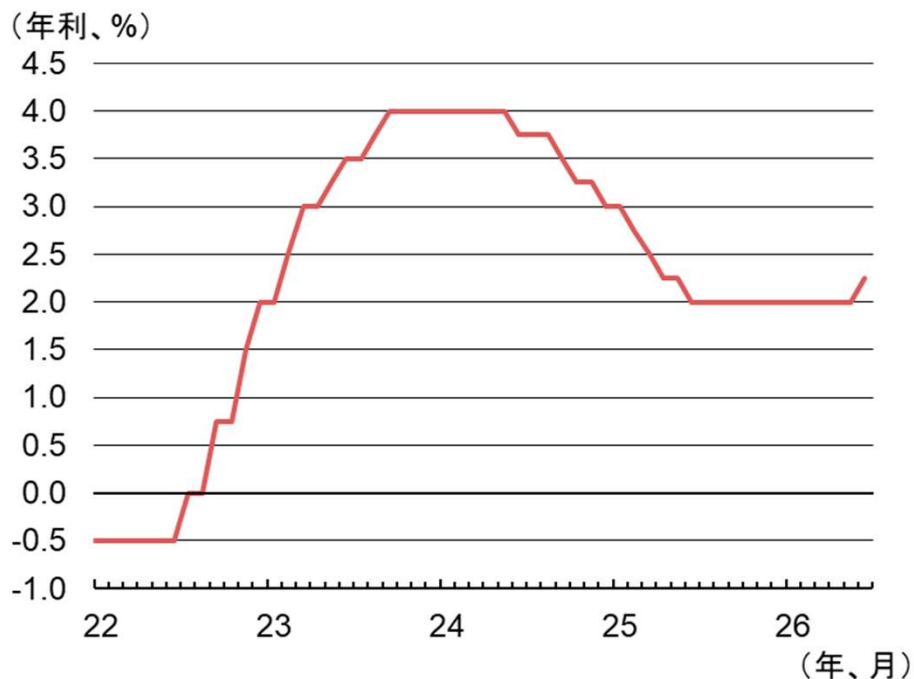


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑥ ECBは6月理事会で利上げを実施

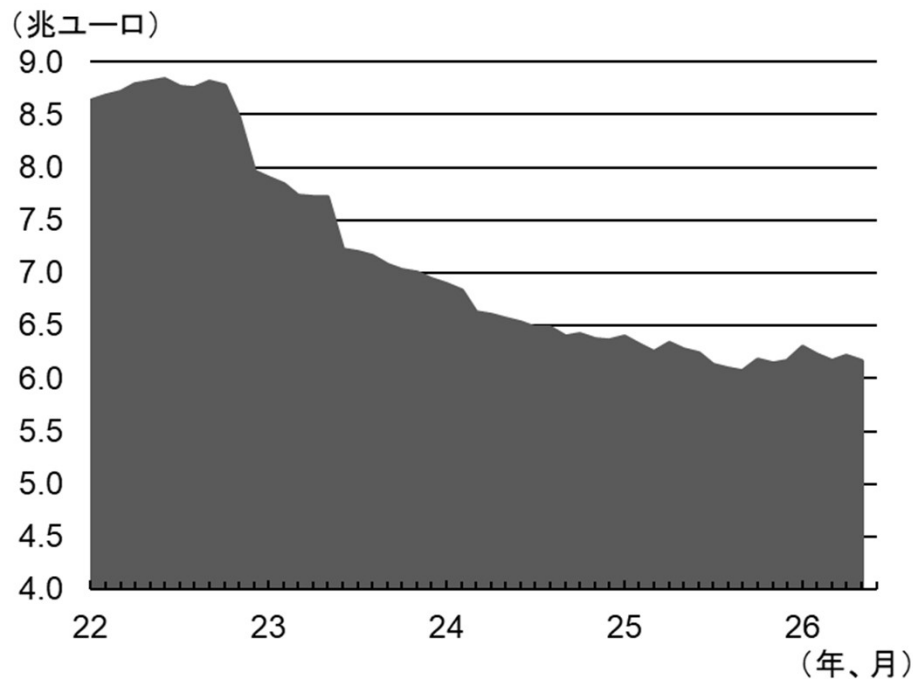
欧州中央銀行(ECB)は6月11日に政策理事会の結果を公表し、政策金利(預金ファシリティ金利)を0.25%ポイント引き上げ、年2.25%にした。イラン発のエネルギーショックに伴うインフレの加速に伴う措置。金融市場ではECBが今年のうちに残り2回程度の利上げを行うと見込んでいる。次回の理事会の結果は7月23日に公表される。

政策金利(預金ファシリティ金利)



(出所)ECB

ユーロシステムのバランスシート

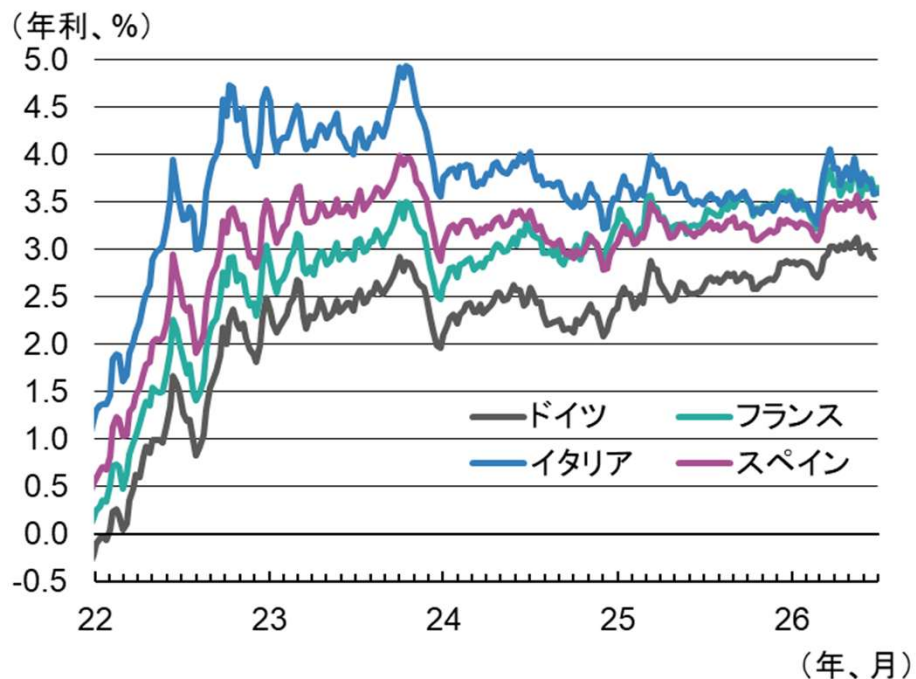


(出所)ECB

ユーロ圏景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

ユーロ圏主要国の6月の長期金利は低下した。イラン情勢の緊張緩和に向けた期待が金利の低下要因となった。一方、同月の株価は上昇した。堅調な企業業績が相場を押し上げた。

10年国債流通利回り



(出所)各国中銀

株価(EURO STOXX 50)



(出所)STOXX

ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドルで下落、対円で横ばい

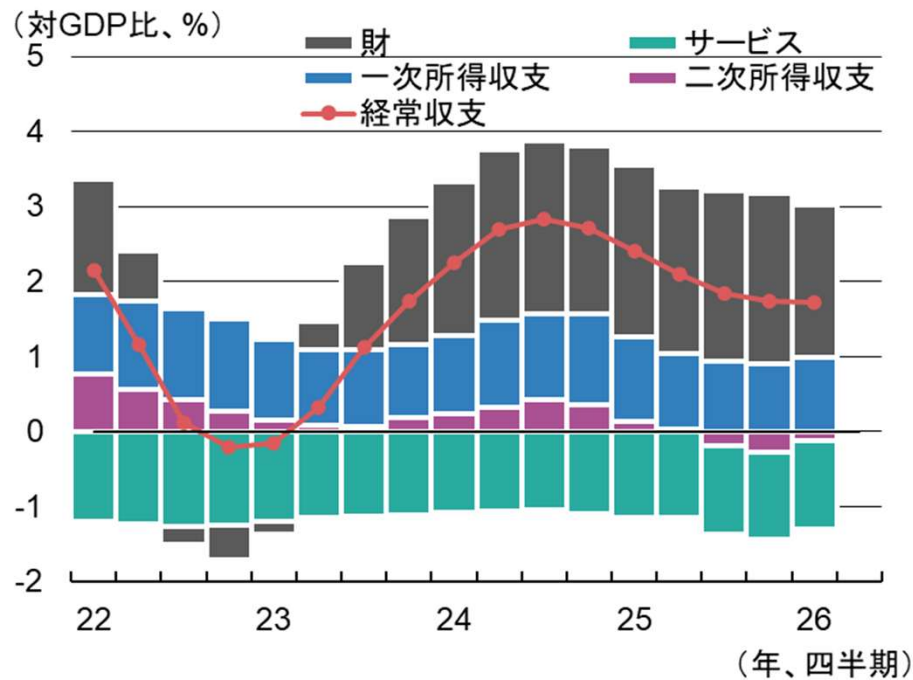
EUの通貨ユーロの6月の相場は対ドルで下落、対円で横ばいとなった。対ドルでは、米国の利上げ観測の高まりを受けてユーロ安ドル高が進んだ。一方、対円では、横ばいとなった。経常収支は、財収支(貿易)黒字が高止まりしており、実需面からのユーロ買い圧力は安定している。

ユーロ相場



(出所) ECB

経常収支

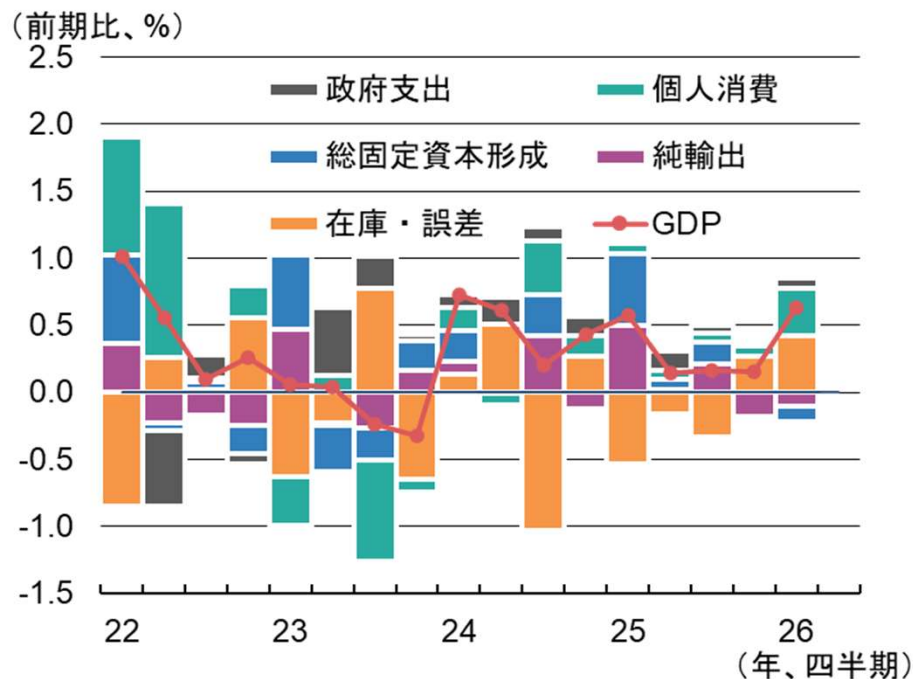


(出所) ECB、ユーロスタット

英国景気概況① 景気は加速している

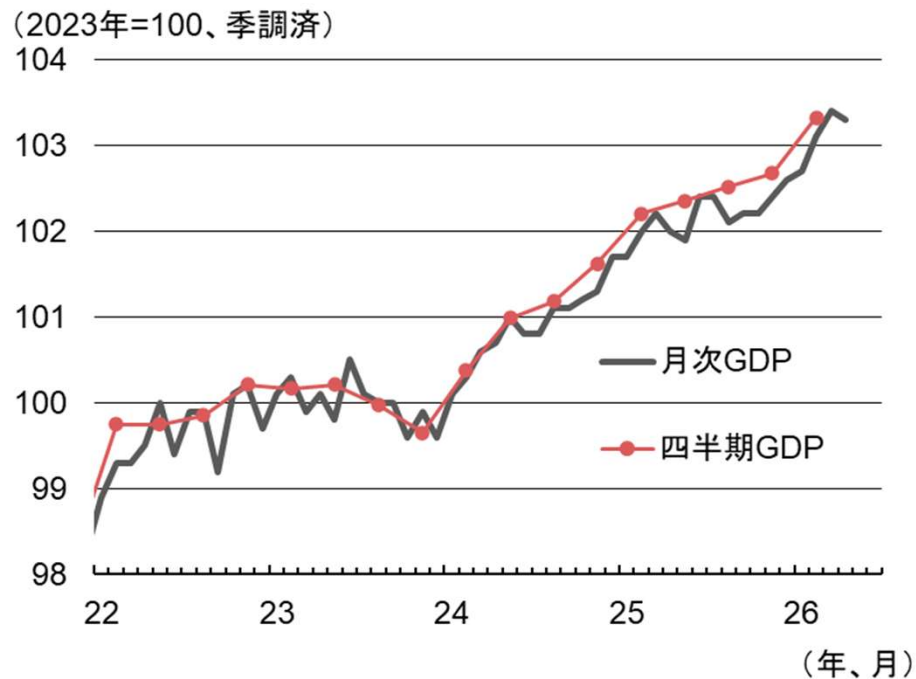
英国の1-3月期の実質GDP(速報値)は前期比+0.6%と、前年10-12月期(同+0.2%)から増勢が加速した。需要項目別には、個人消費が堅調に推移して景気の加速をけん引した。一方、4月の月次実質GDPは前月比▲0.1%と減少に転じた。

実質GDP



(出所)英国立統計局(ONS)

月次実質GDP

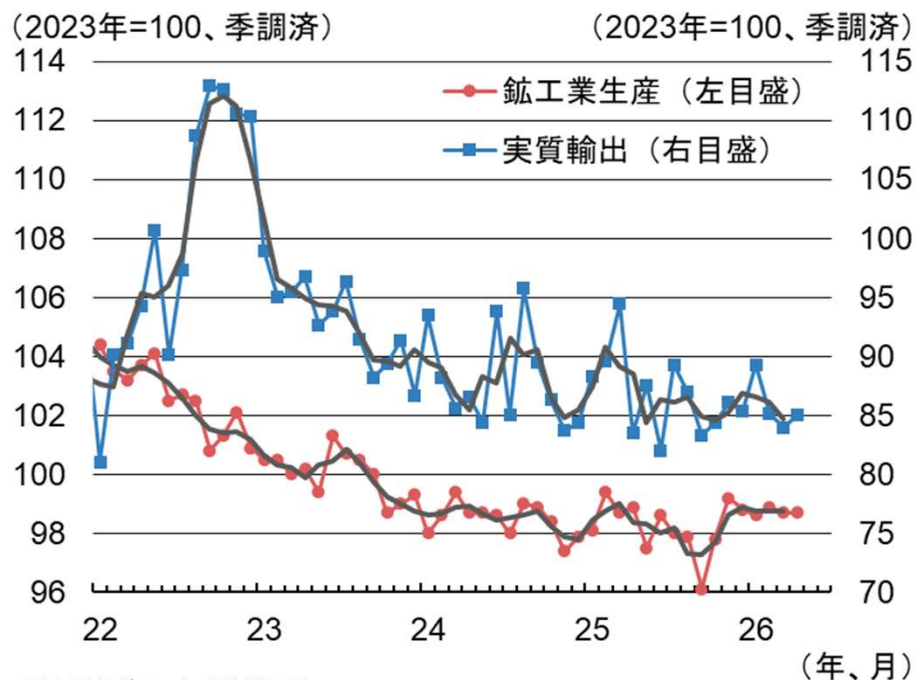


(出所)ONS

英国景気概況② 生産は低迷している

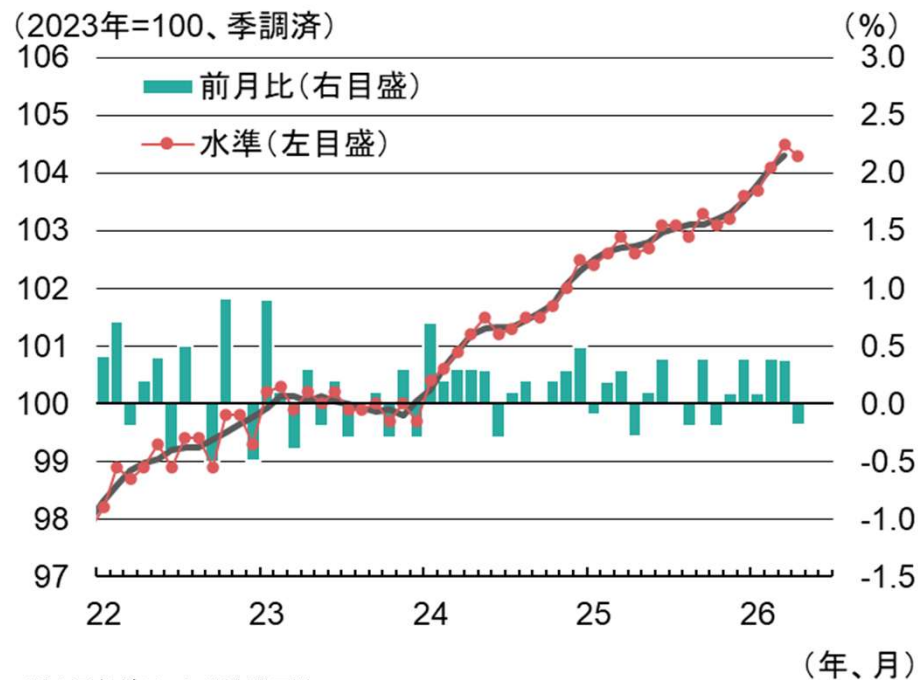
英国の4月の鉱工業生産は前月比横ばい。また同月の実質輸出も同+1.3%と3カ月ぶりに増加したが、いずれも均した動きは低位横ばい。他方で、同月のサービス業生産は同▲0.2%と減少したが、均した動きは上向き。

鉱工業生産と実質輸出



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

サービス業生産

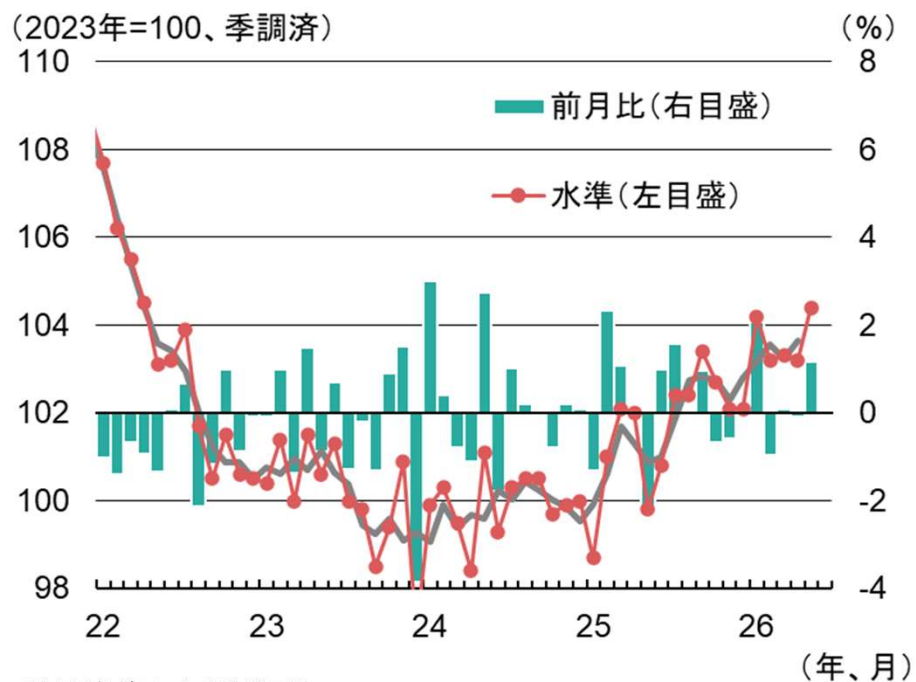


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

英国景気概況③ 消費は回復している

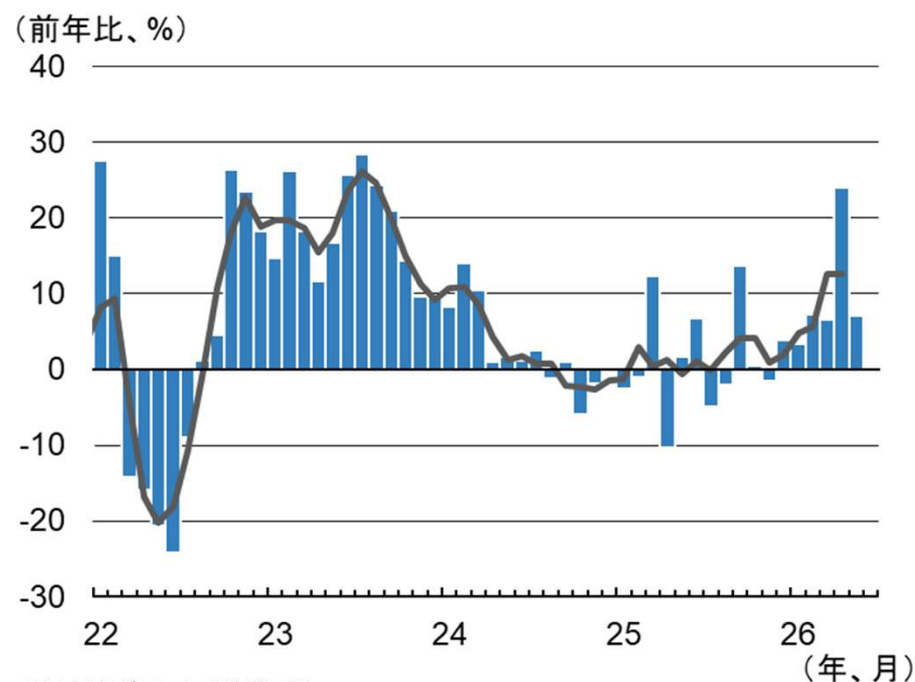
英国の5月の小売数量(除く石油)は前月比+1.2%と反発し、均した動きは上向き。また同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+7.1%と前月(同+24.0%)から増勢が鈍化したものの、均した動きは堅調を維持。市場規模は年率210万台弱レベル。

小売数量



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

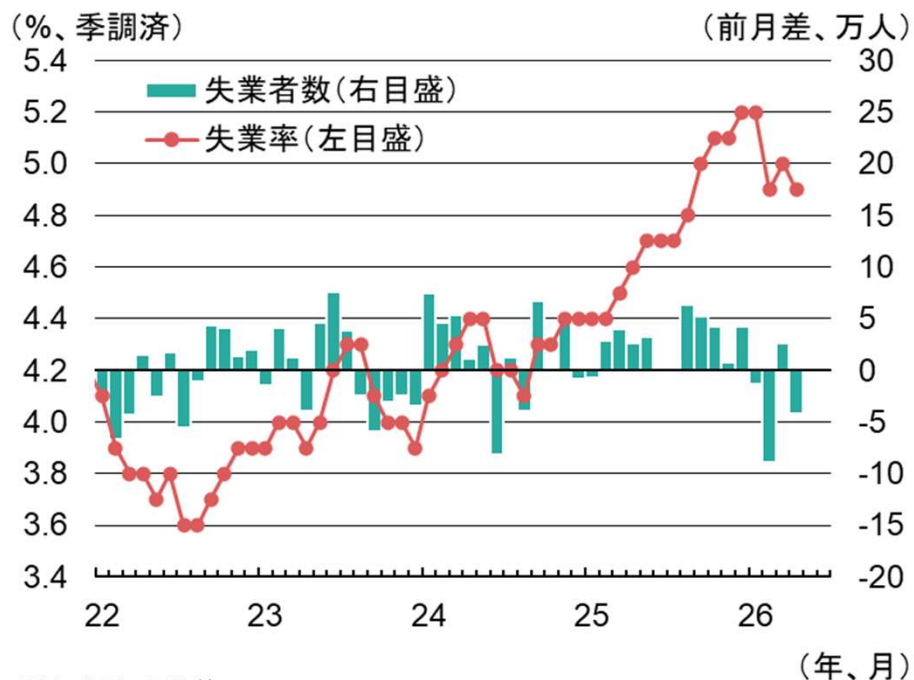
新車販売台数(乗用車)



英国景気概況④ 雇用は悪化が一服

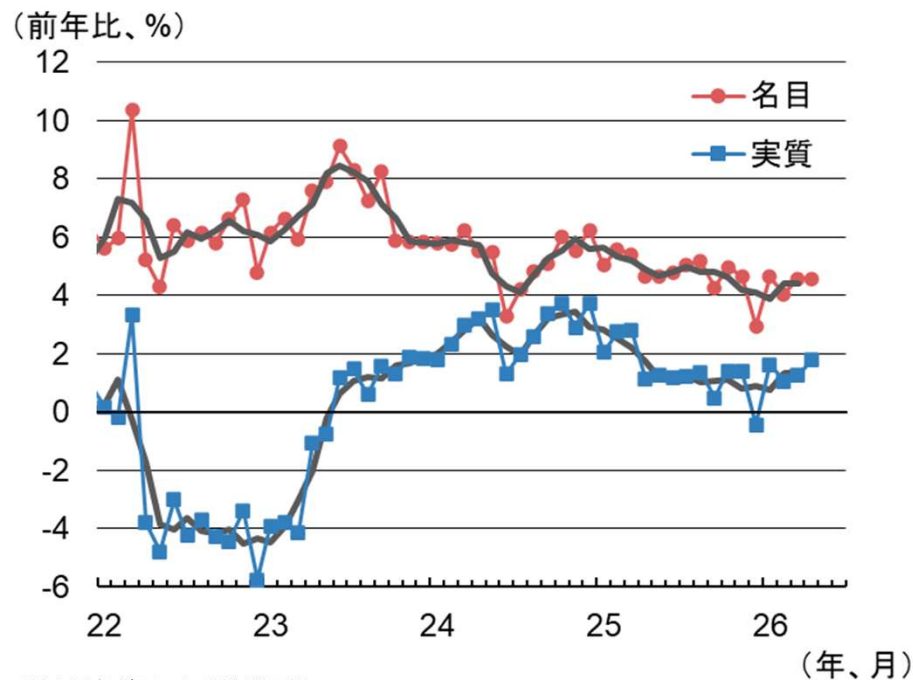
英国の4月の雇用統計では、失業率(3カ月移動平均)が4.9%と前月(5.0%)から再び低下し、また失業者数も前月差4.2万人減と再び減少するなど、雇用情勢は悪化が一服した。一方、賃金の増勢は、物価変動の影響を除いた実質ベースでは前年比2%増程度まで持ち直した。

失業率



(注)3カ月の平均値
(出所)ONS

平均賃金(週給)

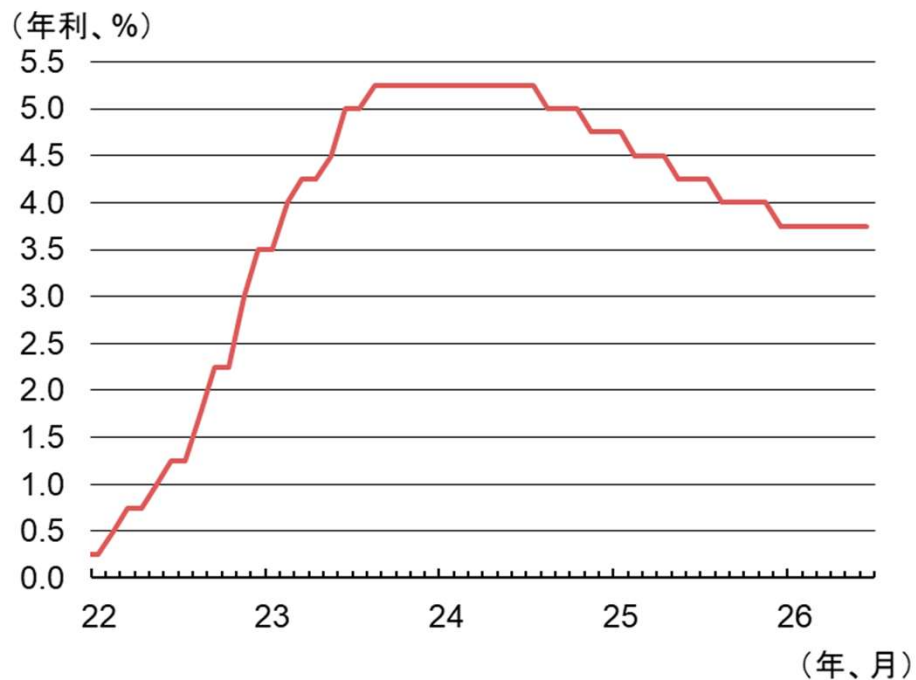


(注)灰色線は3カ月移動平均
(出所)ONS

英国景気概況⑥ BOEは6月委員会で金利を据え置き

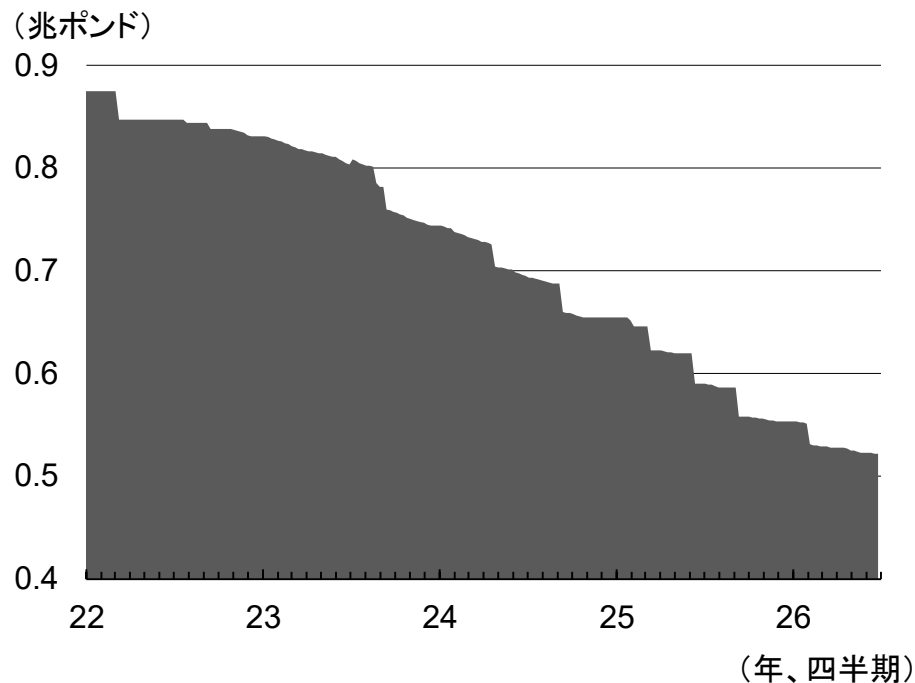
イングランド銀行(BOE)は6月18日に金融政策委員会(MPC)の結果を公表し、政策金利であるバンクレートを年3.75%に据え置いた。BOEは物価動向を注視しているが、エネルギー価格の安定を受けて追加利上げに慎重な姿勢を堅持している。次回のMPCの結果は7月30日に公表される。

政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

BOEの国債保有高

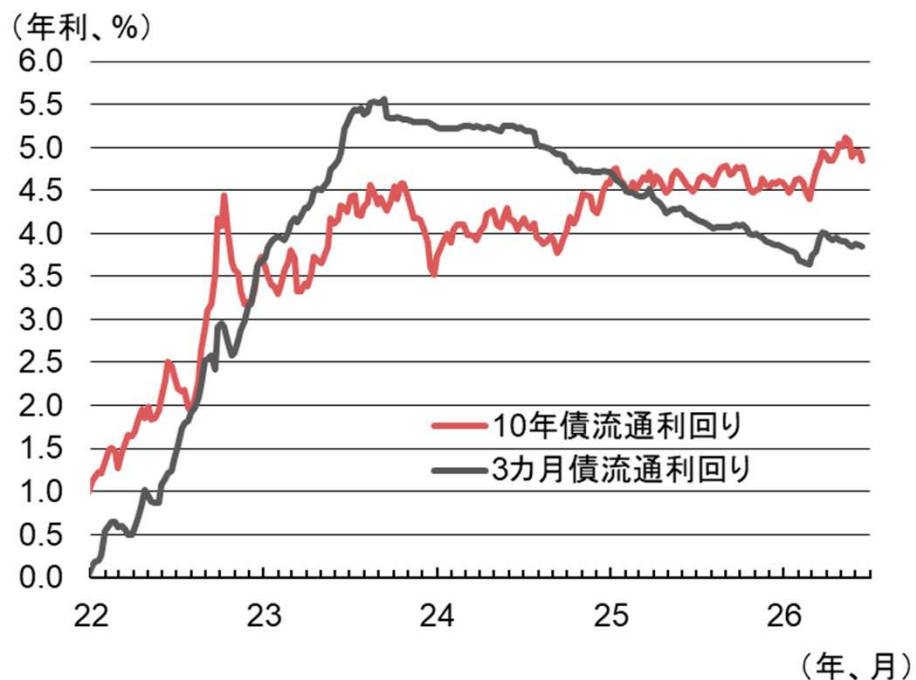


(出所)BOE

英国景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

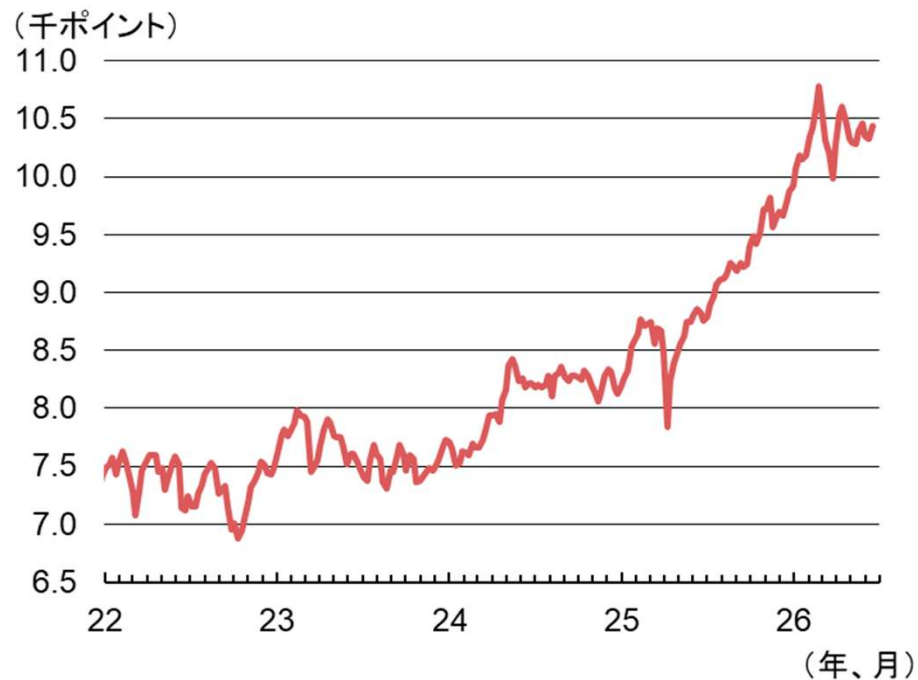
英国の6月の長期金利は低下した。イラン情勢の緊張緩和に向けた期待が金利の低下要因となった。一方、同月の株価は上昇した。堅調な企業業績が相場を押し上げた。

長短金利(10年債と3カ月債)



(出所)BOE

株価(FT30指数)

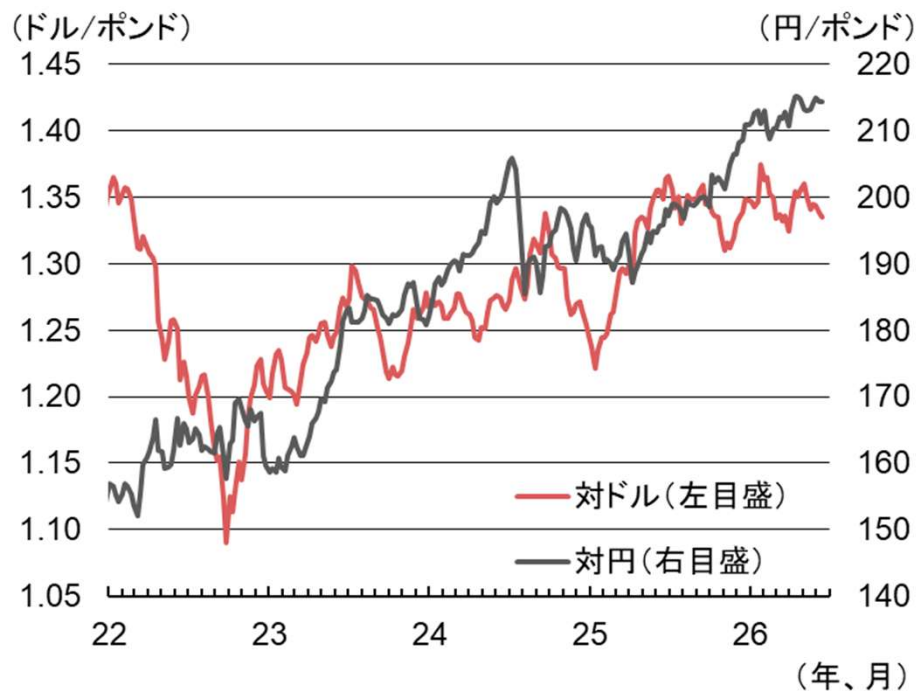


(出所)Financial Times

英国景気概況⑧ ポンドは対ドルで下落、対円で横ばい

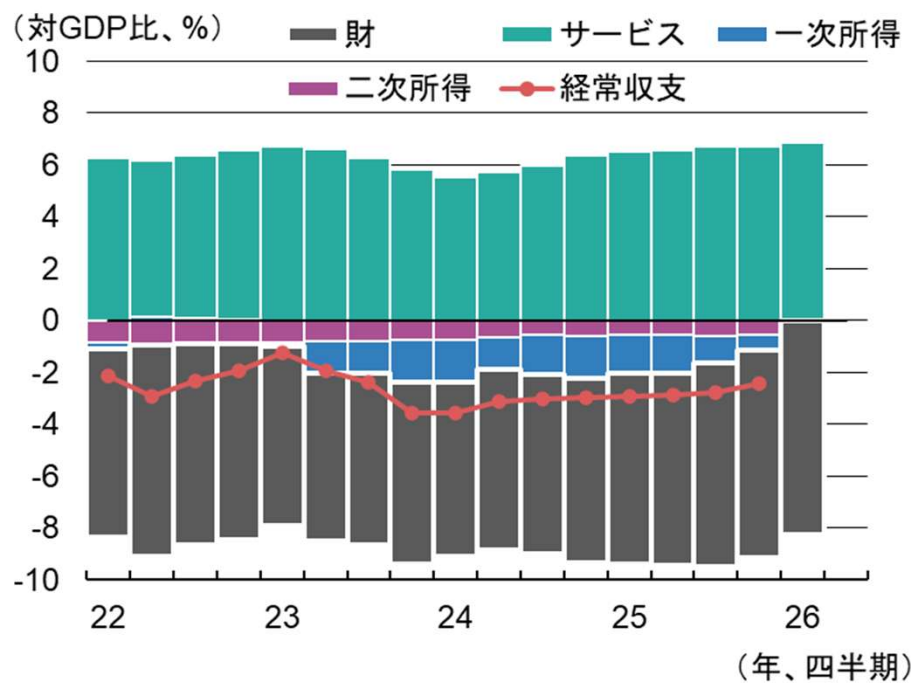
英国の通貨ポンドの6月の相場は対ドルで下落、対円で横ばいとなった。対ドルでは、米国の利上げ観測の高まりを受けてポンド安ドル高が進んだ。一方、対円では、横ばいとなった。経常収支は、名目GDPの2%を超える赤字が定着しており、実需面からのポンド買い圧力は弱い。

ポンド相場



(出所)BOE

経常収支



(出所)BOE、ONS

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 土田陽介

TEL: 03-6733-1628 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー